

21. 静岡県 (Shizuoka Pref.)

作成者: 諏訪哲夫¹⁾; 協力者: 高橋真弓

作成日付: 2003年4月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ウ	Ex	オオウラギンヒョウモン	-	-	伊東市	1959年には多くの個体が採集・目撃されている。1967年 ¹⁾ の記録を最後に、その後の調査にもかかわらず記録が全く無い	シバ型草原の減少が一つの要因と考えられるが、詳細は不明	駿河の昆虫81, 135
EN	ソ, ツ	V	チャマダラセセリ	-	富士宮市	静岡市, 水窪町	水窪町では1974年, 静岡市では1967年を最後に記録が無い。富士宮市では1994年まで記録があるがその後は不明	生息に適した, 荒地地帯の草原が減少している	対策はとられていない。人工林は循環的利用を促進し, 下刈りなどの作業はしっかり行う。また草原として残されているところについては草刈り・火入れなどを行い森林化を防ぐ。駿河の昆虫62, 90, 200
EN	ソ, ツ	E	スジグロチャバネセセリ	-	水窪町	-	1975年までは確実に生息していたが, その後記録はない。詳細は不明	植物の遷移や森林管理の状況により, 生息に適する疎林内の草地や草花の多い林縁が減少した	対策はとられていない。林道沿いの茂り過ぎた森林を伐採し, 林縁に草地を作る。駿河の昆虫94, 97
EN	ソ, ツ	V	シルビアシジミ	-	浜松市, 浜北市	三島市, 天竜市, 磐田市, 富士市, 富士宮市	三島市は1961年, 天竜市は1977年, 富士市は1971年, 富士宮市は1956年以降報告が無い。浜松市・浜北市からはここ数年確認されていない	主に河川の堤防を生息地としていたが, 堤防の植生がシバ型ではなくなっている	対策はとられていない。堤防の草刈りの方法を検討する。駿河の昆虫19, 36, 77, 85, 149
EN	ソ, ツ	V	ヒョウモンチョウ	-	富士宮市	-	1996年以降記録が顕著に減少している	各種の開発により生息地が消滅し, 草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・灌木の伐採を行う。駿河の昆虫23, 133, 173
EN	ソ	R	オオイチモンジ	-	静岡市	-	1967年以降記録が無い。詳細は不明	各種の開発が要因の一つと考えられる	対策はとられていない。駿河の昆虫17, 51, 56
EN	ソ, ツ, ナ	V	ヒメヒカゲ	-	三ヶ日町	浜松市, 浜北市, 湖西市, 袋井市	浜松市は1972年以降, 浜北市は1988年以降, 湖西市は1974年以降, 袋井市は1975年以降確実な記録が無い	各種開発による生息地の消滅。何らかの要因による湿地の乾燥, 森林化。また狭い生息地への採集圧も無視できない	対策はとられていない。湿地の水源の保全と森林化の防止。採集に対する規制を検討すべきである。駿河の昆虫70, 75, 84, 146
VU	タ, テ	V	ホシチャバネセセリ	-	富士宮市	富士市, 芝川町	1980年代までは多くの記録があるが, 1990年以降は記録が激減している	各種の開発により生息地が消滅し, 草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元, 管理する。駿河の昆虫43, 73, 190
VU	タ, テ	V	ヘリグロチャバネセセリ	-	佐久間町, 富士宮市, 静岡市	-	1980年代までは多くの記録があるが, 1990年以降は記録が激減している	各種の開発により生息地が消滅し, 草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元, 管理する。駿河の昆虫99, 173, 183
VU	タ	V	オオチャバネセセリ	-	伊豆長岡町, 掛川市, 三島市, 静岡市, 富士宮市, 富士市, 本川根町, 由比町, 天竜市外	-	1960年代までは各地に普通であったが, 1990年代になってわずかながら生息しているのは掛川市・本川根町・三ヶ日町である	-	駿河の昆虫144, 148, 180
VU	タ, テ	V	ヒメシロチョウ	-	御殿場市, 小山町, 裾野市, 富士宮市, 富士市	芝川町, 富士市	芝川町は1954年以降, 富士市は1975年以降, 裾野市は1978以降記録が無い。富士宮市はまだ確実に生息しているが, 明らかに減少傾向である	各種の開発により生息地が消滅し, 草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元, 管理する。駿河の昆虫3, 88, 190
VU	タ, テ	V	ヤマキチョウ	-	御殿場市, 小山町, 裾野市, 富士宮市	-	各地で減少傾向である。1980年代, 1990年代にもわずかながら確認されている	各種の開発により生息地や食樹のクロツバラが失われ, 草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草原の復元と森林化の進行を止め, 食樹クロツバラを植栽する。駿河の昆虫130, 147, 156
VU	タ, テ	V	クモマツマキチョウ	-	水窪町, 静岡市	-	大井川源流部には広く生息し個体数も少なくなかったが, 最近の減少は著しい。水窪町は1977年以降報告が無い	各種の開発と森林化, また洪水などにより, 河原や林道法面・路肩, 崩壊地などの食草の生育に適する環境が失われている	対策はとられていない。駿河の昆虫27, 95, 191
VU	タ, テ	V	ウラナミアカシジミ	大仁町, 富士宮市, 修善寺町	伊東市, 下田市, 三ヶ日町, 三島市, 芝川町, 修善寺町, 小山町, 松崎町, 裾野市, 中伊豆町, 佐久間町, 富士川町ほか	沼津市, 天竜市, 富士川町, 佐久間町	1980年代以降生息する市町村がほぼ半減した	宅地造成や道路改良などによる平野部のクヌギ林の消滅が影響している	対策はとられていない。主として里山において落葉広葉樹林(クヌギ)の造成・管理と利用を行う。駿河の昆虫27, 63, 111, 192
VU	タ, テ	V	ベニモンカラスシジミ	-	水窪町	-	詳細は不明	開発や林相の変化で, かつての生息地が失われている	対策はとられていない。駿河の昆虫200

21. 静岡県 (Shizuoka Pref.)

作成者: 諏訪哲夫¹⁾; 協力者: 高橋真弓

作成日付: 2003年4月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	タ	V	クロシジミ	富士宮市	岡部町, 静岡市, 天竜市	由比町	静岡市においては1950年代は各地に記録があり、個体数も多かったが、その後の記録は激減している	落葉広葉樹林とそれに続く疎林もしくは荒れ地状の明るい空間がなくなっている	主として里山において、落葉広葉樹林の造成と管理を行う。駿河の昆虫66, 162, 198
VU	タ,テ	V	ゴマシジミ	-	富士宮市, 御殿場市	裾野市	富士宮市では1970年代まで朝霧高原に広く分布していたが、それ以降急速に生息地が減少し、現在では2~3箇所を確認されるのみである。御殿場市は1980年代までは東富士演習場内に確実に生息していたが最近の詳細は不明である	各種の開発により生息地が消滅し、草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元、管理する。駿河の昆虫133, 149, 190
VU	タ,テ	-	クロツバメシジミ	水窪町, 龍山村	佐久間町	-	1980年代に集落が廃村となって放置され、生息地が失われた。1990年以降には一部の地域で乱獲とみなされるような行為があり、著しく個体数が減じた	集落内の露岩地や石積みなどが廃村により放置された状況となり、藪に覆われ食草が生育できなくなった。また道路の法面のコンクリートなどによる改良で生息地が失われている。さらに採集圧も無視できない	対策はとられていない。採集のモラルを徹底する。駿河の昆虫115, 164
VU	タ,テ	-	ヒメシジミ	-	御殿場市, 富士宮市	富士市, 裾野市	富士宮市朝霧高原にはいくつかの生息地があったが、1980年代以降急速に生息地が減少し、現在では1~2箇所を確認されるに過ぎない	各種の開発により生息地が消滅し、草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元、管理する。駿河の昆虫99, 180, 190
VU	タ,テ	V	アサマシジミ	-	富士宮市	-	富士宮市朝霧高原にはいくつかの生息地があったが、1980年代以降急速に生息地が減少し、現在では1~2箇所を確認されるに過ぎない	各種の開発により生息地が消滅し、草原として残されたところも草刈り・火入れが行われなくなったことにより森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い草原を復元、管理する。駿河の昆虫149, 190
VU	タ,テ	V	ウラナミジャノメ	浜北市	伊東市, 森町	修善寺町, 函南町, 熱海市, 沼津市, 富士市, 富士宮市, 掛川市, 湖西市外	県東部分布域では1970年代以降ほとんどの地域で生息地が消滅し、現在では伊東市のごく一部で生息が確認されているに過ぎない。西部の分布域でも1990年以降生息地が減少している	里山の放置や道路の改良などにより生息地となる明るい森林に隣接したイネ科草本の多い空間が減少している。地域によっては採集圧も無視できない	対策はとられていない。里山の管理を進める。駿河の昆虫76, 139, 140, 179
VU	タ,テ	-	キマダラモドキ	-	御殿場市, 富士宮市, 裾野市	-	富士宮市朝霧高原北部には比較的広く分布していたが、1990年以降確認されていない。御殿場市は東富士演習場には確実に生息していると思われるが、最近の状況は不明である	各種の開発により生息地が消滅したことに加え、生息地である草原に隣接した疎林が、草原の草刈り・火入れなどの一連の手入れや利用が行われなくなったことにより、森林化している	対策はとられていない。草刈り・火入れ・灌木の伐採を行い、疎林・草原を復元、管理する。駿河の昆虫44, 144, 190
NT	チ,ト	-	ギフチョウ	引佐町	芝川町	富士市, 富士宮市, 富士川町, 蒲原町, 由比町, 静岡市, 磐田市, 豊岡村, 浜松市, 三ヶ日町, 細江町	芝川町を除き、富士川を中心とした東部分布域の生息地は1970年代になって消滅し始め、1980年以降はほぼ全域に及んだ。西部分布域では、引佐町と天竜市の境にある枯山以外の生息地は、1970年以降ほとんど消滅した	拡大造林が進み雑木林が減少したこと、近年の林業の低迷による人工林の利用(伐採)と管理(間伐)の不足で森林がうっべいし、生息に適する環境が失われた	芝川町・引佐町の全域と・天竜市の一部では天然記念物に指定され採集禁止となっている。里山では雑木林の造成と管理、人工林においては間伐を促進する。駿河の昆虫77, 79, 114, 149
NT	チ,ト	-	ハヤシミドリシジミ	-	富士宮市	-	1970年代頃からのカシワの疎林の減少に伴い生息地も縮小している	草地造成など各種の開発によりカシワが伐採された	対策はとられていない。カシワの保存が必要。駿河の昆虫133, 190
NT	チ,ト	-	ミヤマシジミ	静岡市, 浜北市	御殿場市, 富士宮市, 島田市, 金谷町, 川根町中川根町, 本川根町, 天竜市, 佐久間町, 磐田市	芝川町, 富士市, 富士川町, 水窪町	富士山本体の生息地は1990年代以降減少している。富士川下流堤防では1960年代以降記録が無い。安倍川・大井川・天竜川の堤防の生息地では近年徐々に減少している	富士山の生息地は火山荒原の草原化、河川の生息地は堤防の改修・河川敷の運動公園整備などにより失われた	対策はとられていない。河川堤防の整備方法の検討が必要。駿河の昆虫95, 116, 189
NT	チ	-	オオミスジ	静岡市	水窪町, 中川根町, 本川根町	-	1980年代以降、低山地の生息地が減少している。山間部ではまだ確実に生息しているところもある	低山地の集落のウメが過疎などの影響を受けて放置され、その後は結局伐採されるなどして好適な生息環境がなくなった	対策はとられていない。駿河の昆虫183, 200
NT	チ	-	クロヒカゲモドキ	静岡市, 春野町, 中川根町	藤枝市, 本川根町, 天竜市, 引佐町	-	静岡市においては1970年代から急速に記録が少なくなっている	雑木林の減少と林業の低迷により、人工林の管理が行き届かないために、森林が暗くなり過ぎて生息に適する環境が失われたためと思われる	対策はとられていない。里山の森林の整備が必要。駿河の昆虫82, 112, 192

1) 〒420-0815 静岡県静岡市上沓谷町14-9

今回リストアップされなかった種

アカセセリ(E)
ミヤマシロチョウ(R)
ムモンアカシジミ(E)
ウスイロオナガシジミ(R)
ジョウザンミドリシジミ(R)
カラスシジミ(R)
コヒオドン(R)
オオヒカゲ(E)

採集された個体数はわずかであり、詳細は不明である
高山蝶で南アルプスにのみ生息しているが、個体数はまだ安定している
採集された個体数は1のみであり、詳細は不明である
希少種ではあるが奥地の落葉広葉樹林には確実に生息していると思われる
希少種ではあるが奥地の落葉広葉樹林には確実に生息していると思われる
希少種ではあるが奥地の落葉広葉樹林には確実に生息していると思われる
南アルプスにのみ生息しているが、個体数は少なく、詳細は不明である
採集された個体数は1のみであり、本県には生息していない可能性がある